東三河農業要覧
2015

平成28年3月
目　次

1 東三河農業の主要指標 ............................................. 1
2 地域農業の概要 .................................................. 2
3 農業産出額の概要 ................................................ 5
4 農産物の生産状況 ............................................... 6
5 畜産の生産状況 .................................................. 12
6 事業実施状況の概要 .............................................. 14
7 農業経営基盤強化促進事業の概要 ................................. 23
8 地方卸売市場の概要 .............................................. 24
9 農業協同組合の概要 ............................................. 25
10 農業振興地域制度の概要 ....................................... 26
11 農地制度の概要 .................................................. 27

12 参考資料
   (1) 作物・種類別農業産出額の状況 .............................. 28
   (2) 耕地の状況 ................................................... 29
   (3) 農家の状況 .................................................. 30
   (4) 作物別作付（栽培）面積・収穫量 .......................... 31
   (5) 家畜の飼養状況 ............................................. 34
   (6) 畜産経営に起因する環境汚染問題の発生状況 .............. 35
   (7) 農薬取締法及び肥料取締法関係の届出状況 ............... 36

○表紙の写真
JA農橋トマト集出荷施設
（平成26年度強い農業づくり事業（野菜集団産地整備事業））

<table>
<thead>
<tr>
<th>集出荷施設全景</th>
<th>自動箱詰めロボット</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>自動倉庫</td>
<td>ロボットパレタイザー</td>
</tr>
</tbody>
</table>

1 東三河農業の主要指標

<table>
<thead>
<tr>
<th>区分</th>
<th>単位</th>
<th>東 三 河</th>
<th>愛 知 県</th>
<th>全 国</th>
<th>出典資料</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>21年</td>
<td>26年</td>
<td>対比% 26/21</td>
<td>21年</td>
</tr>
<tr>
<td>人口</td>
<td>人</td>
<td>704,961</td>
<td>700,970</td>
<td>99.4</td>
<td>7,410,719</td>
</tr>
<tr>
<td>世帯数</td>
<td>戸</td>
<td>256,337</td>
<td>263,265</td>
<td>102.7</td>
<td>2,933,802</td>
</tr>
<tr>
<td>農家戸数</td>
<td>戸</td>
<td>14,947</td>
<td>14,028</td>
<td>93.7</td>
<td>84,348</td>
</tr>
<tr>
<td>農家率</td>
<td>%</td>
<td>5.8</td>
<td>2.9</td>
<td>4.9</td>
<td>9.1</td>
</tr>
<tr>
<td>販売農家戸</td>
<td>戸</td>
<td>10,806</td>
<td>9,517</td>
<td>88.1</td>
<td>43,599</td>
</tr>
<tr>
<td>主業農家戸</td>
<td>戸</td>
<td>5,280</td>
<td>4,759</td>
<td>90.1</td>
<td>10,128</td>
</tr>
<tr>
<td>主業農家率</td>
<td>%</td>
<td>48.9</td>
<td>50.0</td>
<td>22.3</td>
<td>25.0</td>
</tr>
<tr>
<td>農業就業人口</td>
<td>人</td>
<td>25,852</td>
<td>22,194</td>
<td>85.9</td>
<td>77,359</td>
</tr>
<tr>
<td>基幹的農業従事者</td>
<td>人</td>
<td>23,887</td>
<td>22,606</td>
<td>87.2</td>
<td>66,861</td>
</tr>
<tr>
<td>耕地面積</td>
<td>ha</td>
<td>18,700</td>
<td>18,308</td>
<td>99.9</td>
<td>79,700</td>
</tr>
<tr>
<td>1戸当たり平均耕地</td>
<td>ha</td>
<td>125</td>
<td>95</td>
<td>106</td>
<td>111.3</td>
</tr>
<tr>
<td>田面積</td>
<td>ha</td>
<td>5,442</td>
<td>5,349</td>
<td>100.4</td>
<td>44,900</td>
</tr>
<tr>
<td>水田面積</td>
<td>ha</td>
<td>13,248</td>
<td>12,949</td>
<td>99.7</td>
<td>34,800</td>
</tr>
<tr>
<td>田面積の割合</td>
<td>%</td>
<td>29.1</td>
<td>29.2</td>
<td>56.3</td>
<td>56.6</td>
</tr>
<tr>
<td>農業産出額</td>
<td>億円</td>
<td>1,466</td>
<td>2,796</td>
<td>3,010</td>
<td>101.1</td>
</tr>
<tr>
<td>米</td>
<td>%</td>
<td>5.2</td>
<td>10.9</td>
<td>8.3</td>
<td>21.7</td>
</tr>
<tr>
<td>野菜</td>
<td>%</td>
<td>34.9</td>
<td>34.9</td>
<td>33.6</td>
<td>25.1</td>
</tr>
<tr>
<td>果樹</td>
<td>%</td>
<td>6.3</td>
<td>6.8</td>
<td>5.8</td>
<td>8.4</td>
</tr>
<tr>
<td>花き</td>
<td>%</td>
<td>30.4</td>
<td>18.6</td>
<td>18.5</td>
<td>4.2</td>
</tr>
<tr>
<td>畜産</td>
<td>%</td>
<td>23.9</td>
<td>25.3</td>
<td>30.1</td>
<td>31.7</td>
</tr>
<tr>
<td>農作物作付作業面積</td>
<td>ha</td>
<td>18,940</td>
<td>73,400</td>
<td>70,800</td>
<td>96.5</td>
</tr>
<tr>
<td>稲作作付面積</td>
<td>ha</td>
<td>4,299</td>
<td>31,100</td>
<td>29,300</td>
<td>94.2</td>
</tr>
<tr>
<td>野菜作付面積</td>
<td>ha</td>
<td>9,232</td>
<td>18,300</td>
<td>17,400</td>
<td>95.1</td>
</tr>
<tr>
<td>果樹作付面積</td>
<td>ha</td>
<td>1,780</td>
<td>5,380</td>
<td>5,000</td>
<td>92.9</td>
</tr>
<tr>
<td>花き等作付面積</td>
<td>ha</td>
<td>1,714</td>
<td>4,740</td>
<td>4,630</td>
<td>97.7</td>
</tr>
<tr>
<td>乳用牛飼養頭数</td>
<td>頭</td>
<td>16,130</td>
<td>33,300</td>
<td>28,600</td>
<td>85.9</td>
</tr>
<tr>
<td>肉用牛飼養頭数</td>
<td>頭</td>
<td>34,200</td>
<td>58,800</td>
<td>46,700</td>
<td>79.4</td>
</tr>
<tr>
<td>羊飼養頭数</td>
<td>頭</td>
<td>230,870</td>
<td>372,300</td>
<td>349,900</td>
<td>94.0</td>
</tr>
<tr>
<td>採種飼養家数</td>
<td>千羽</td>
<td>3,111</td>
<td>9,982</td>
<td>9,086</td>
<td>91.0</td>
</tr>
</tbody>
</table>

※農業産出額～採種飼養家数の東三河の平成21年は、平成18年の数値
※花き等作付面積は、花き、花木、種苗等
2 地域農業の概要

東三河農林水産事務所の管轄する地域は、愛知県の東南部に位置している。平成17年10月に渥美郡渥美町が田原市へ編入合併され、同様に、平成18年2月に宝飯郡一宮町が豊川市へ、平成20年1月に宝飯郡水羽町及び御津町が、平成22年2月に小坂井町がそれぞれ編入合併されたことから、豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市の4市となっている。

温暖な気候と豊川用水の恩恵に加え、交通網の整備等により、園芸、畜産を始め多種多様な農業が営まれている。

昭和43年の豊川用水の全面通水を契機に、この地域の農業は水利用に合わせた生産構造に転換した。

その後、この地域は、国や県、市町村の各種補助事業を積極的に活用し、農業生産基盤や園芸・畜産団地、農産物の集出荷場、家畜ふん尿処理施設、農村環境等の整備を進めるとともに、農業近代化資金等の農業制度資金の活発な投資を行い、農業振興、農村の活性化に積極的に取り組んでいる。

こうした取り組みの結果、現在では、露地野菜や施設園芸作物は全国屈指の産地となり、首都圏を始め京阪神、名古屋など全国各地に出荷されている。

地域特産マップ
(1) 販売農家
管内の人口（平成27年1月10日現在）は700,970人、世帯数は263,265世帯となっている。
販売農家数（平成27年2月1日現在）は9,517戸、販売農家のうち主業農家（農業所得が主）（農業所得が主（農業所得の50%以上が農業所得）で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家）は4,759戸、主業農家率は50.0%で、県内の25.0%、全国の22.1%を大きく上回る。特に、田原市の主業農家率は71.8%と高い割合にある。
人口については県内における管内の割合は9.4%しかないが、主業農家数については県内の54.9%を管内が占めている。
(2) 耕地面積
管内の耕地面積（平成26年7月15日現在）は18,308haで、近年ほぼ横ばいに推移している。このうち田は5,349ha、畑が12,949haとなっている。耕地面積に占める畑の割合は70.7%と、県平均43.3%及び全国平均54.4%に比べ高い割合にあり、園芸が盛んであることを示している。
(3) 経営耕地規模別農家数
管内の経営耕地面積規模別農業経営体数（平成22年2月1日現在）の構成割合をみると、0.5ha未満は21.6%、0.5以上1.0ha未満は36.9%、1.0以上2.0ha未満は26.8%、2.0ha以上が14.8%となっている。
特に、豊橋市や田原市には経営規模の比較的大きな農家が多い。

兼業別農家数などの推移

耕地面積の推移

（農林業センサス）
（愛知農林水産統計年報）
（4）叡川用水の概要

東三河地域は昭和43年に全面通水した叡川用水により、温暖な気候と京浜・京阪神の大都市圏の中間に位置する地理的条件を生かして、全国屈指の畑作農業地帯へと大きく発展した。

しかし、営農形態の変化や人口増加等による水需要の増大や渇水により、昭和48年以降、毎年のように節水を余儀なくされてきた。

その対策として、昭和55年から新規水源の確保を目的とした叡川総合用水事業が着手され、平成14年3月に完了した。しかしながら、近年では無降水日の増加と短時間での強雨といった傾向にあり、より安定した水供給を確保するため、設楽ダム建設事業の推進が必要となっている。

本県では、昭和61年から「水管理の合理化」と「水資源の有効活用」を目的とした県営かんがい排水事業叡川総合用水地区により、支線水路の改築を行い、平成22年3月に完了した。

また、叡川用水は通水後約40年が経過しており、施設の老朽化による漏水・破損事故等が顕著となってきたため、独立行政法人水資源機構は平成11年度から「幹線水路の改修と複線化」及び「国営級支線水路改築」を目的とした叡川用水二期事業を実施しました。

さらに、平成19年度に叡川用水二期事業に計画変更で追加した、東海・東南海地震の防災対策区域内の拡大に伴う幹線水路・水源施設等の改修のための「大規模地震対策」及び支線水路や畑かん水路で多く使用されている石綿セメント管の老朽化やアスベスト対策のための「石綿管除去対策」を平成27年度完了に向け実施している。
３ 農業産出額の概要

平成18年におけるこの地域の農業産出額は県全体の47.2％を占める1,466億円である。この内訳は、園芸作物が1,056億円（県全体の52.9％）、畜産343億円（同21.6％）、穀類55億円（同15.5％）などとなっている。

主な品目としては、野菜はトマト、メロン、キャベツ、はぐさい、レタス、ブロッコリー、果実はみかん、かき、ぶどう、花きはきく、ばら、観葉植物などである。

また、主な畜産物は、生乳、肉用牛、豚、鶏卵などである。

市町村別の農業産出額では、田原市が県全体の23.3％を占める724億円を始めとして、豊橋市は474億円（県全体の15.2％）、豊川市が193億円（同6.2％）、蒲郡市が75億円（同2.4％）となっている。

県内地域別農業産出額の割合（平成18年）
4 農産物の生産状況

(1) 水稲

管内の26年産水稲（主食用）の作付面積は3,832haで、新規需要米（飼料用米、WCS用稲等）の取組等により前年産の3,976haから144ha減少した。収穫量は19,216t。

作況指数は愛知県で99と平年並みであった。管内の主な品種は、あきたこまち、コシヒカリ、コシヒカリSBL、ゆめまつり、あいちのかおりSBL。

近年は登熟期の高温（日平均気温27℃以上の継続）による登熟障害（白米熟粒）が増えているため、施肥設計の見直しや品種の検討等に取り組んでいる。

水稲の作付面積と収穫量の推移

(農林水産統計)

・米の生産数量目標の達成に向けた取組
　米は過剰在庫の解消と在庫にかかる価格変動を解消するため、全国的に作付を減らす取組がされており、愛知県でも田の面積に対して約70%の作付面積に押さえるような数値目標が設定され、米以外の作物への作付転換が奨励されている。
　東三河管内も戦略作物として麦、大豆、新規需要米の生産が徐々に拡大している。新規需要米の中でも、飼料用米と稲WCSは各市地域農業再生協議会が生産を奨励しているので、近年、生産量が著しく増加している。

<table>
<thead>
<tr>
<th>経営所得安定対策等の東三河地域の加入面積の推移</th>
<th>(単位：ha)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>H 22</td>
</tr>
<tr>
<td>飼料用米</td>
<td>30</td>
</tr>
<tr>
<td>稲WCS</td>
<td>3</td>
</tr>
</tbody>
</table>
(2) 麦・大豆

ア 麦

管内の小麦は、主に水田で栽培されており、主な品種は農林61号である。
26年産の小麦の作付面積は99haで、前年産の105haより減少した。収穫量は266tで前年産の278tより微減し、2年連続の減少となった。

イ 大豆

管内の大豆は、主に麦作後に栽培され、主な品種はフクユタカである。
26年産の大豆の作付面積は94haで、前年産の101haより減少した。
収穫量は112tと前年産の95tを上回り平年並みの収量だった。
(3) 野菜
この地域は、温暖な気候、水利に恵まれた全国を代表する園芸地帯である。22年産の主要野菜作付延べ面積は8,560haで、首都圏と関西圏という2大消費地の中間に位置する立地条件を生かし、東海はもとより全国に出荷している。

ア 露地野菜
温暖な気候を生かした秋から春にかけての露地栽培が盛んで、キャベツは、豊橋市及び田原市が全国屈指の巨大産地を形成している。
また、はくさいは豊橋市及び豊川市で、たまねぎは豊橋市で、レタス、ブロッコリーは豊橋市及び田原市で、セルリー、カリフラワーは田原市で栽培され主要産地となっている。
一方、夏には、すいか、メロン、スイートコーンが、主に豊橋市及び田原市で栽培されている。

イ 施設野菜
年間を通して日照時間が長いため施設栽培に適しており、施設園芸の発祥の地として施設園芸地帯を形成している。
トマト（ミニトマト含む）、いちご、大葉や菊花などの「つまもの」が、全市で栽培されており、特に「つまもの」は、全国一の産地となっている。
トマトは周年化が進んでいるが、豊橋市、田原市及び豊川市の一部では、夏にメロンを栽培する作型となっている。
また、なすは、豊橋市で栽培され主要産地となっている。

主要野菜の作付延べ面積

キャベツ 56%
メロン 5%
スイートコーン 4%
トマト 4%
はくさい 3%
すいか 3%
レタス 3%
だいこん 2%
しそ 1%
いちご 8%
その他 1%
(4) 花き

花き生産は、そのほとんどが施設栽培であり、管内農業の主要部門を占めている。管内の26年産の花き作付延べ面積は1,400ha、産出額は約346億円であり、切花の総出荷本数は479,307千本、鉢物類の総出荷鉢数は17,669千鉢（花壇苗を含む）であり、花き作付面積の93％が切花である。

輸ぎくは田原市及び豊川市を中心に作付延べ面積は998haで、日本一の産地を形成しており、出荷量は352,811千本である。電照ぎくとして全国的に有名であるが、夏秋ぎく栽培の普及により、年3作の周年生産が定着している。

スプレーぎくは、田原市及び豊川市を中心に生産され、作付延べ面積は199ha、出荷量は89,414千本で日本一の産地となっている。

その他の切花では、管内全域でばら（36ha）が生産され、豊橋市を主体にデルフィニウム（9ha）の生産が行われている。また、田原市を主体にアルストロメリア（11ha）、グロリオサ（5ha）、カーネーション（6ha）、トルコギキョウ（6ha）、ガーベラ（5ha）等様々な切花の生産が行われている。

鉢物類も管内全域で栽培されており、観葉植物（21ha）、洋ラン（9ha）を始めとして、あじさい（10ha）、シクラメン（9ha）、ポインセチア（4ha）、ハイビスカス（3ha）、ポットカーネーション（4ha）等が生産されている。

花きの作付延べ面積(26年産)（％）

<table>
<thead>
<tr>
<th>鉢物類</th>
<th></th>
<th>その他切り花</th>
<th></th>
<th>デルフィニウム</th>
<th>ばら</th>
<th>スプレーぎく</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>輸ぎく</td>
<td>71%</td>
<td></td>
<td></td>
<td>4%</td>
<td>3%</td>
<td>14%</td>
</tr>
<tr>
<td>鉢物類</td>
<td>7%</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（業務資料）
（5）果樹

管内では、かんきつ類、かき、なし、ぶどう、いちじく、もも、キウィフルーツなど多種類の果樹が栽培されており、平成25年の栽培面積は899haである。

かんきつ類は、蒲郡市を中心に豊川市・豊橋市及び瀬戸内半島沿岸部にかけて栽培されており、うんしゅうみかんを主体に栽培されている。

特に、昭和50年頃から栽培が始まった「ハウスみかん」（施設うんしゅうみかん）は、栽培面積63.5haと、全国でも有数の産地となっているが、近年の燃料価格高騰により、「はるみ」、不知火を始めとする中晚柑への品種転換など、栽培の多様化が進行している。出荷先は施設では主に京浜市場へ、露地は中京市場である。

かきは、豊橋市南部地域を中心に豊川市にかけて栽培されており、「次郎柿」は全国の産地を形成している。しかし、近年では、次郎柿の集中出荷の回避、出荷期間の延長、労力分散を図るため、次郎柿より出荷の早い品種「早秋」や、出荷の遅い「陽豊」の導入推進が図られている。出荷期間は、9月下旬から12月上旬であるが、一部のハウス柿は8月下旬から10月中旬までと11月下旬から12月下旬であり、主として京浜市場へ出荷されている。

なしとぶどうは、豊橋市を中心に豊川市にかけて栽培されている。なしは「幸水」、ぶどうは「種なし巨峰」が主体であるが、ぶどうでは、消費者ニーズの高いシャインマスカットが少しずつ増えてきている。

果樹の栽培面積（平成25年）（ha）
（6）施設面積

園芸作物施設面積は燃油高騰、花きにおける販売単価の下落、資材の高騰、高齢化により減少してきており、平成24年にはガラス室516ha、ハウス室1,452ha、合計1,968haとなっている。栽培延べ面積でみると、ガラス室で野菜が32%、花きが57%を占め、ハウス室で野菜が43%、花きが35%、果樹が5%を占めている。

なお、農業用使用済プラスチックフィルムの平成25年の排出量は、塩化ビニール521t、ポリエチレンフィルムで691t、その他プラスチックフィルム200tとなっている。

施設等面積（平成24年）

栽培延べ面積
2,933ha
設置面積 1,968ha
（ハウス室1,452ha
ガラス室 516ha）

（園芸用ガラス室・ハウス等の設置状況調査）（単位：ha）
５　畜産の生産状況

(1) 酪農
酪農の主産地は、田原市及び豊橋市に分布している。平成26年の飼養戸数は149戸で1,2万頭が飼養されている。1戸当たりの平均規模は83頭であり、県平均の80頭をやや上回るが、田原市は95頭と規模拡大が進んでいる。
規模拡大と労働生産性の向上を目指し、フリーストール牛舎の設置が昭和63年度から始まり、29戸が農業公社牧場設置事業等により導入している。また、最近では哺乳ロボット(16戸)や歩行計による発情発見システム(14戸)の導入などIT技術が導入されつつある。

(2) 肉用牛
肉用牛経営（乳肉複合経営等を含む。）は、豊橋市及び田原市が主産地であり、平成26年の飼養戸数は150戸で、2.5万頭が飼養されている。1戸当たりの平均飼養頭数は167頭であり、県平均の113頭を大きく上回っている。特に豊橋市では126頭、田原市では221頭と規模拡大が進んでいる。最近では「田原牛」、「あつみ牛」、「暖か育美の伊良湖常春ビーフ」、「黒潮牛」、「とおかわ牛」など、各地域で牛肉のブランド化が進んでいる。また、消費者との交流も行われたり、国産豚わらの収集が増加したりするなど、生産者の圧力を見る安全安心な牛肉生産に取り組んでいる。

(3) 養豚
養豚経営は田原市を中心に、豊橋市及び豊川市に分布している。
平成26年の飼養戸数は128戸で20万頭が飼養されている。1戸当たりの飼養規模は平均で1,546頭と多く、そのほとんどは一貫生産である。特に田原市では1戸当たりの飼養頭数が1,654頭と規模拡大が進んでいる。
最近では、「みかわポーク」、「豊川エコポーク」など豚肉のブランド化が進み、高付加価値豚肉の生産、生産者の圧力が見える安全安心な豚肉生産が進んでいる。

(4) 養鶏
採卵鶏経営は、田原市を中心に豊橋市と豊川市に分布し、平成26年は42戸で189万羽（卵用名古屋コーチンを含む。）が飼養されている。肉用鶏経営は、主に豊橋市を中心に18戸で45.1万羽が、うち肉用名古屋コーチンは9戸で11万羽が飼養され、地域の重要な産業として位置づけられている。
大規模な採卵鶏農家中心に、省力化による生産性の向上と伝染病予防を目的にインドウレス鶏舎の導入が進めている。

(5) その他
前記以外の畜産のほとんどを占めるのは養鶏である。うずらは全国の約半数が豊橋市を中心に田原市及び豊川市等で飼養されているが、とりわけ豊橋市が管内の71%を占めている。そのほとんどは採卵用であるが、ごくわずかながら肉用も飼養されている。平成26年の飼養戸数16戸で201万羽が飼養されている。

（戸数、頭数データは愛知県農林水産部畜産課調べ）
愛知県における東三河管内の畜産物産出額（平成18年）（億円）

（愛知農林水産統計年報）

畜産の産出額の推移

（愛知農林水産統計年報）
６ 事業実施状況の概要

（1）人・農地問題解決加速化支援事業
集落・地域が抱える「人と農地の問題解決」のため、地域の中心となる経営体の確保や農地の集積など、地域農業のあり方を市の人の農地プランに位置付け取り組むことにより、地域農業の体質強化、持続可能な農業の実現を目指すこととしており、このプランの更新を支援した。

人・農地プランの作成・更新

<table>
<thead>
<tr>
<th>作成年月（当初）</th>
<th>豊橋市</th>
<th>豊川市</th>
<th>蓼原市</th>
<th>田原市</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>平成24年8月</td>
<td>平成24年9月</td>
<td>平成25年2月</td>
<td>平成24年8月</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>更新年月（平成26年度）</th>
<th>豊橋市</th>
<th>豊川市</th>
<th>蓼原市</th>
<th>田原市</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>平成26年6月、10月</td>
<td>平成26年5月、11月</td>
<td>平成26年3月</td>
<td>平成26年7月、12月</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（2）新規就農・経営継承総合支援事業
人・農地プランに位置付けられた（位置付けられることが見込まれる。）経営開始直後の新規就農者に対して、新規就農・経営継承総合支援事業の青年就農給付金の給付による支援により、青年就農者の定着・確保を図った。

青年就農給付金（経営開始型）

<table>
<thead>
<tr>
<th>年度</th>
<th>豊橋市</th>
<th>豊川市</th>
<th>蓼原市</th>
<th>田原市</th>
<th>計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>26</td>
<td>22人</td>
<td>25人</td>
<td>4人</td>
<td>4人</td>
<td>55人</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>36,750</td>
<td>57,000</td>
<td>6,750</td>
<td>7,500</td>
<td>108,000</td>
</tr>
</tbody>
</table>

※平成26年度補正予算分を含む。

（3）鳥獣被害防止総合対策事業
鳥獣被害の深刻化・広域化に対応し、地域の実態に即した被害防止対策の抜本的強化を図るため、鳥獣被害防止措置法により市町村が策定する「被害防止計画」に基づく取組を総合的に支援した。

鳥獣被害防止総合対策事業費補助金（平成26年度）

<table>
<thead>
<tr>
<th>協議会名</th>
<th>事業内容</th>
<th>事業費</th>
<th>補助金</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>豊橋市鳥獣被害対策協議会</td>
<td>捕獲艦</td>
<td>30基</td>
<td>6,407</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ワイヤーメッシュ柵</td>
<td>1,300m</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>電気柵</td>
<td>1,162m</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>豊川市鳥獣被害防止対策協議会</td>
<td>ニホンザルテレメトリー調査</td>
<td></td>
<td>22,328</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>捕獲艦</td>
<td></td>
<td>20基</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ワイヤーメッシュ柵</td>
<td></td>
<td>9,506m</td>
</tr>
<tr>
<td>蓼原市鳥獣被害防止対策協議会</td>
<td>捕獲艦</td>
<td></td>
<td>15,974</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ワイヤーメッシュ柵</td>
<td>10,000m</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td></td>
<td></td>
<td>44,709</td>
</tr>
</tbody>
</table>

14
（4）鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業
市が策定した「被害防止計画」に基づき、市の行う有害鳥類捕獲・処分に関する経費に対して、愛知県鳥獣被害防止対策推進協議会が助成した。

<table>
<thead>
<tr>
<th>鳥種</th>
<th>豊橋市</th>
<th>豊川市</th>
<th>蓼都郡</th>
<th>計</th>
<th>補助単価</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>イノシシ</td>
<td>成</td>
<td>29</td>
<td>166</td>
<td>106</td>
<td>301</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>幼</td>
<td>52</td>
<td>145</td>
<td>42</td>
<td>239</td>
</tr>
<tr>
<td>ニホンザル</td>
<td>成</td>
<td>-</td>
<td>142</td>
<td>-</td>
<td>142</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>幼</td>
<td>-</td>
<td>27</td>
<td>-</td>
<td>27</td>
</tr>
<tr>
<td>ニホンジカ</td>
<td>成</td>
<td>-</td>
<td>399</td>
<td>1</td>
<td>400</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>幼</td>
<td>-</td>
<td>9</td>
<td>-</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td>その他鳥類</td>
<td>42</td>
<td>89</td>
<td>11</td>
<td>142</td>
<td>1,000円/頭</td>
</tr>
<tr>
<td>鳥類</td>
<td>271</td>
<td>189</td>
<td>-</td>
<td>460</td>
<td>200円/羽</td>
</tr>
<tr>
<td>補助金額</td>
<td>380,200</td>
<td>5,963,800</td>
<td>909,000</td>
<td>7,253,000</td>
<td>単位：円</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（5）耕作放棄地再生利用緊急対策（愛知県耕作放棄地対策協議会事業）
荒廃した耕作放棄地を引き受けて作物生産を再開する農業者、農業者組織、農業参入法人等が行う再生作業や土づくり、作付け、必要な施設の整備等の総合的な取組に対して、愛知県耕作放棄地対策協議会が助成した。

<table>
<thead>
<tr>
<th>協議会名</th>
<th>田原市担い手育成総合支援協議会</th>
<th>備考</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>再生利用交付金</td>
<td>22,000,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>再生作業</td>
<td>6,276,000</td>
<td>重機を用いて行う再生（1/2）</td>
</tr>
<tr>
<td>土壌改良</td>
<td>717,500</td>
<td>2.5万円/10a</td>
</tr>
<tr>
<td>営農定着</td>
<td>660,000</td>
<td>2.5万円/10a</td>
</tr>
<tr>
<td>施設補整整備</td>
<td>14,346,500</td>
<td>基盤整備、農業用施設（1/2）</td>
</tr>
<tr>
<td>附属事業</td>
<td>6,893</td>
<td>事務費（定額）</td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>22,006,893</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>農地再生面積</td>
<td>174a</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
（6）経営体育成支援事業

中心経営体等が融資を活用して、農業用機械・施設等を導入する場合、融資残の自己負担部分に対し、取得額の10分の3まで（上限300万円）の額を助成した。

<table>
<thead>
<tr>
<th>経営体育成支援事業</th>
<th>（単位：円）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>予算区分</td>
<td>市名</td>
</tr>
<tr>
<td>25年度補正（国）</td>
<td>田原市</td>
</tr>
<tr>
<td>小計</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td>26年度当初（国）</td>
<td>豊橋市</td>
</tr>
<tr>
<td>豊川市</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>田原市</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td>小計</td>
<td>11</td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>19</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（7）園芸農産振興対策事業

ア 地域農業振興事業（平成23～26年度）

社会的、経済的な情勢変化に対応して生産性の向上と農業労働環境の改善等を図るため、集団産地の育成強化、生産近代化施設の充実及び集出荷体制の整備等について、国の事業との協調を図りつつ地域の実情に即して実施した。

<table>
<thead>
<tr>
<th>年度</th>
<th>事業種目</th>
<th>市名</th>
<th>事業実施主体</th>
<th>事業内容</th>
<th>事業費</th>
<th>補助金額</th>
<th>県費</th>
<th>市費</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>23年度</td>
<td>省エネルギー化推進地域整備事業</td>
<td>豊橋市</td>
<td>豊橋南部トマト省エネルギー施設利用組合</td>
<td>多段式サーモン1台循環屬108台</td>
<td>7,185,622</td>
<td>2,280,000</td>
<td>342,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>生産集団近代化施設整備事業</td>
<td>田原市</td>
<td>愛知みなみ農業協同組合</td>
<td>野菜播種プラント3台</td>
<td>4,935,000</td>
<td>1,565,000</td>
<td>0</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>豐橋市</td>
<td>同上</td>
<td>多段式サーモン10台循環屬90台</td>
<td>5,359,200</td>
<td>1,701,000</td>
<td>0</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>24年度</td>
<td>生産集団近代化施設整備事業</td>
<td>豊橋市</td>
<td>豊橋温室園芸農業協同組合</td>
<td>野菜播種機一式</td>
<td>6,875,400</td>
<td>2,182,000</td>
<td>327,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>26年度</td>
<td>生産集団近代化施設整備事業</td>
<td>田原市</td>
<td>愛知みなみ農業協同組合</td>
<td>電動フォークリフト4台</td>
<td>4,190,400</td>
<td>1,293,000</td>
<td>0</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
イ 野菜、果樹、花き産地整備事業（平成23〜26年度）

「食料・農業・農村基本計画」に基づき、消費者・実需者ニーズを踏まえた国産農産物の安定的供給体制の構築を図るため、産地としての持続性を維持し、収益力を向上するための取組を推進するため、国の強い農業づくり交付金を活用して、集出荷施設等の整備を推進した。

(単位：円)

<table>
<thead>
<tr>
<th>年度</th>
<th>事業名</th>
<th>市名</th>
<th>事業実施主体</th>
<th>事業内容</th>
<th>事業費</th>
<th>補助金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>23年度</td>
<td>野菜集団産地整備事業（H21編纂）</td>
<td>田原市</td>
<td>(株)YMO</td>
<td>大葉選別施設1棟180㎡</td>
<td>86,415,000</td>
<td>42,023,000</td>
</tr>
<tr>
<td>24年度</td>
<td>花き産地整備事業（国はH23第4次補正）</td>
<td>田原市</td>
<td>あいちみなみ農業協同組合</td>
<td>花き冷蔵施設1棟451㎡</td>
<td>53,245,500</td>
<td>25,355,000</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>集出荷用建物1棟420㎡ 児童遊花機（花 ロボ）3台</td>
<td>62,181,000</td>
<td>29,610,000</td>
</tr>
<tr>
<td>26年度</td>
<td>野菜集団産地整備事業</td>
<td>豊橋市</td>
<td>豊橋農業協同組合</td>
<td>トマト集出荷貯蔵施設（建物9,403.9㎡、選果設備一式）</td>
<td>1,286,430,000</td>
<td>643,215,500</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>野菜集団産地整備事業</td>
<td>豊川市</td>
<td>東三温室園芸農業協同組合</td>
<td>大葉自動計量包装施設（建物160.6㎡、冷蔵庫施設95.5㎡、大葉自動計量包装機械17台）</td>
<td>118,722,240</td>
<td>39,144,000</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>0</td>
</tr>
</tbody>
</table>
ウ 野菜価格安定対策事業
野菜生産出荷安定法に基づき、主要な野菜について生産及び出荷の安定等を図り、野菜農業の健全な発展に資するため、指定産地を始めとする野菜主要産地について野菜価格安定対策事業を実施した。

<table>
<thead>
<tr>
<th>指定野菜名</th>
<th>産地名</th>
<th>関係市</th>
<th>作付面積</th>
<th>出荷量</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>春キャベツ</td>
<td>湖 美</td>
<td>田原市</td>
<td>582</td>
<td>34,400</td>
</tr>
<tr>
<td>冬キャベツ</td>
<td>豊 橋</td>
<td>豊橋市</td>
<td>1,710</td>
<td>67,200</td>
</tr>
<tr>
<td>冬キャベツ</td>
<td>豊川宝飯</td>
<td>豊川市</td>
<td>40</td>
<td>1,690</td>
</tr>
<tr>
<td>冬キャベツ</td>
<td>湖 美</td>
<td>田原市</td>
<td>2,200</td>
<td>106,200</td>
</tr>
<tr>
<td>たまねぎ</td>
<td>豊 橋</td>
<td>豊橋市</td>
<td>42</td>
<td>2,130</td>
</tr>
<tr>
<td>冬春トマト</td>
<td>豊 橋</td>
<td>豊橋市</td>
<td>117</td>
<td>10,800</td>
</tr>
<tr>
<td>冬春トマト</td>
<td>豊川宝飯</td>
<td>豊川市</td>
<td>62</td>
<td>5,120</td>
</tr>
<tr>
<td>冬春トマト</td>
<td>湖 美</td>
<td>田原市</td>
<td>124</td>
<td>11,900</td>
</tr>
<tr>
<td>冬春なす</td>
<td>豊 橋</td>
<td>豊橋市</td>
<td>22</td>
<td>2,590</td>
</tr>
<tr>
<td>冬冬はくさい</td>
<td>豊 橋</td>
<td>豊橋市</td>
<td>183</td>
<td>7,540</td>
</tr>
<tr>
<td>冬冬はくさい</td>
<td>豊川</td>
<td>豊川市</td>
<td>27</td>
<td>1,380</td>
</tr>
<tr>
<td>冬レタス</td>
<td>田 原</td>
<td>田原市</td>
<td>71</td>
<td>1,260</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（平成 26 年産作物統計調査）
野菜価格安定対策事業の実施状況（平成26年度）

<table>
<thead>
<tr>
<th>区分</th>
<th>対象野菜</th>
<th>登録出荷団体等名</th>
<th>交付予約数量（t）</th>
<th>対象市場群</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>指定野菜価格安定</td>
<td>春キャベツ</td>
<td>J A 愛知みなみ</td>
<td>8,500</td>
<td>関東、東海、近畿</td>
</tr>
<tr>
<td>冬キャベツ</td>
<td>J A 豊橋</td>
<td>36,330</td>
<td>北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>J A ひまわり</td>
<td>583</td>
<td>関東、東海、近畿</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>J A 愛知みなみ</td>
<td>41,500</td>
<td>北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>たまねぎ</td>
<td>J A 豊橋</td>
<td>200</td>
<td>全国</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>冬春トマト（ミニ）</td>
<td>J A ひまわり</td>
<td>476</td>
<td>北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>秋冬はくさい</td>
<td>J A 豊橋</td>
<td>8,624</td>
<td>北海道、関東、北陸、東海、近畿</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>J A ひまわり</td>
<td>812</td>
<td>関東、東海、近畿</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>冬レタス（結球）</td>
<td>J A 愛知みなみ</td>
<td>478</td>
<td>関東、東海</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>（非結球）</td>
<td></td>
<td>486</td>
<td>関東、東海</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>特定野菜価格差補給</td>
<td>春キャベツ</td>
<td>J A 豊橋 5,650</td>
<td>関東、北陸、東海、近畿</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>冬レタス（結球）</td>
<td>J A 豊橋</td>
<td>359</td>
<td>関東、東海</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>（非結球）</td>
<td></td>
<td>16</td>
<td>関東、東海</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>カリフラワー</td>
<td>J A 愛知みなみ</td>
<td>44</td>
<td>関東</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>セルリー</td>
<td>J A 愛知みなみ</td>
<td>960</td>
<td>関東</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ブロッコリー</td>
<td>J A 豊橋</td>
<td>470</td>
<td>関東</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>J A 愛知みなみ</td>
<td>4,000</td>
<td>関東、東海</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>9 種別</td>
<td>4 出荷団体</td>
<td>109,968</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>区 分</th>
<th>対象野菜</th>
<th>登録出荷団体等名</th>
<th>交付予約数量（t）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>契約指定野菜供給安定事業</td>
<td>春キャベツ</td>
<td>M</td>
<td>30</td>
</tr>
<tr>
<td>価格低落タイプ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>数量確保タイプ</td>
<td>春キャベツ</td>
<td>S 社</td>
<td>50</td>
</tr>
<tr>
<td>冬キャベツ</td>
<td>S 社</td>
<td>133</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1 種別</td>
<td>2 出荷団体</td>
<td>213</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（農政課業務資料）
（8）水田農業経営所得安定対策推進事業

ア 経営所得安定対策事業

それぞれ対象作物を生産販売した農家を対象に面積あるいは販売数量に応じて助成金が国から支給された。

（ア）畑作物の直接支払交付金

交付対象者：認定農業者、集落営農、認定新規就農者
交付実績（H26）
・農家数 東三河9戸、愛知県903戸
・支払数量 (単位：kg)

<table>
<thead>
<tr>
<th>作目名</th>
<th>東三河</th>
<th>愛知県</th>
<th>管内割合</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>小麦</td>
<td>274,871</td>
<td>21,430,174</td>
<td>1.3 %</td>
</tr>
<tr>
<td>大豆</td>
<td>70,530</td>
<td>6,771,150</td>
<td>1.0 %</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（イ）水田活用の直接支払交付金

交付対象者：認定農業者、集落営農、認定新規就農者
交付実績（H26）
・農家数 東三河169戸、愛知県4,809戸
・支払面積 (単位：a)

<table>
<thead>
<tr>
<th>作目名</th>
<th>種別</th>
<th>東三河</th>
<th>愛知県</th>
<th>管内割合</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>麦</td>
<td>基幹</td>
<td>8,225</td>
<td>506,973</td>
<td>1.6 %</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>二毛作</td>
<td>493</td>
<td>18,477</td>
<td>2.7 %</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>基幹</td>
<td>788</td>
<td>14,130</td>
<td>5.6 %</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>二毛作</td>
<td>6,931</td>
<td>384,624</td>
<td>1.8 %</td>
</tr>
<tr>
<td>戦略作物 WCs以外の飼料作物</td>
<td>基幹</td>
<td>398</td>
<td>13,396</td>
<td>3.0 %</td>
</tr>
<tr>
<td>WCs用稲基幹</td>
<td>4,587</td>
<td>16,666</td>
<td>2.8 %</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>米粉用米基幹</td>
<td>66</td>
<td>4,129</td>
<td>1.6 %</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>飼料用米基幹</td>
<td>12,597</td>
<td>103,646</td>
<td>1.2 %</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>加工用米基幹</td>
<td>252</td>
<td>43,945</td>
<td>0.6 %</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>耕畜連携</td>
<td>わら利用</td>
<td>4,491</td>
<td>22,875</td>
<td>2.0 %</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>資源循環</td>
<td>3,345</td>
<td>11,530</td>
<td>2.9 %</td>
</tr>
</tbody>
</table>
（ウ）米の直接支払交付金

交付対象者：米の生産数量目標に従って生産した販売農家又は集落営農
交付実績（H２6）
・農家数 東三河２７１戸、愛知県１２，８０２戸
・支払面積 （単位：a）

<table>
<thead>
<tr>
<th>区分</th>
<th>東三河</th>
<th>愛知県</th>
<th>管内割合</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>10 a控除前</td>
<td>43,200</td>
<td>1,225,931</td>
<td>3.6%</td>
</tr>
<tr>
<td>10 a控除後</td>
<td>40,381</td>
<td>1,093,805</td>
<td>3.7%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

※自家消費米相当分として、一律10a控除した面積に交付

イ推進費補助金

米の生産数量目標及び経営所得安定対策事業の手続窓口である、市及び地域農業再生協議会に対して事務経費を助成した。

東三河管内の交付実績（H２6）（単位：円）

<table>
<thead>
<tr>
<th>年度</th>
<th>市町村数</th>
<th>事業費</th>
<th>補助金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>26</td>
<td>4市</td>
<td>10,921,000</td>
<td>10,921,000</td>
</tr>
</tbody>
</table>

ウ米の生産数量目標

平成２６年産米の生産数量目標が国から県に、県から市に、それぞれ配分され、米から他の作目への転換が推進された。

東三河管内の概況（H２6）（単位：t、ha）

<table>
<thead>
<tr>
<th>地域名</th>
<th>生産数量目標</th>
<th>割の面積換算値</th>
<th>水稲作付面積</th>
<th>田本地面積</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>東三河</td>
<td>15,340</td>
<td>3,069</td>
<td>3,832</td>
<td>5,085</td>
</tr>
<tr>
<td>愛知県</td>
<td>134,970</td>
<td>26,561</td>
<td>30,500</td>
<td>41,700</td>
</tr>
</tbody>
</table>

※水稲作付面積及び田本地面積は農林水産省作物統計より引用
（9）農業残留確認調査事業（平成26年度）

東三河管内の農業協同組合等が農業残留確認調査事業実施要領に基づき、登録保
留基準への適合状況、農業使用時の飛散状況、周辺農作物への残留状況及び農薬の
飛散防止技術の効果を確認するため、農業の農産物、土壤等への残留量について調
査を行う事業に要する農業残留分析に係る経費を助成する。

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業種目</th>
<th>市名</th>
<th>事業実施主体</th>
<th>事業内容</th>
<th>事業費</th>
<th>県費</th>
<th>市費</th>
<th>補助金額</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>農業改良普及対策事業補助金（農業残留実態調査補助金）</td>
<td>豊橋市</td>
<td>豊橋農業協同組合</td>
<td>農薬の農作物、土壤等への残留分析を実施し、その結果を登録残留基準及び生産履歴記録帳と照合する。72検体</td>
<td>2,332,800</td>
<td>864,000</td>
<td>0</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>豊川市</td>
<td>ひまわり農業協同組合</td>
<td>同上</td>
<td>6,447,600</td>
<td>2,388,000</td>
<td>0</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>蓼部市</td>
<td>蓼部市農業協同組合</td>
<td>同上</td>
<td>3,823,200</td>
<td>1,416,000</td>
<td>0</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>田原市</td>
<td>愛知みなみ農業協同組合</td>
<td>同上</td>
<td>5,572,800</td>
<td>2,064,000</td>
<td>1,290,000</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>豊橋市</td>
<td>豊橋温室園芸農業協同組合</td>
<td>同上</td>
<td>6,804,000</td>
<td>2,520,000</td>
<td>0</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>豊川市</td>
<td>東三温室園芸農業協同組合</td>
<td>同上</td>
<td>3,564,000</td>
<td>1,320,000</td>
<td>0</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>蓼部市</td>
<td>農事組合法人三河温室園芸組合</td>
<td>同上</td>
<td>648,000</td>
<td>240,000</td>
<td>0</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>豊橋市</td>
<td>プロフェッショナルファーマーズ愛知</td>
<td>同上</td>
<td>3,348,000</td>
<td>1,240,000</td>
<td>0</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>4市</td>
<td>8団体</td>
<td>1,201検体</td>
<td>32,540,400</td>
<td>12,052,000</td>
<td>1,290,000</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（単位：円）
7 農業経営基盤強化促進事業の概要

市を中心に関係機関・団体の連携による推進体制の強化を図りながら、地域の実情に即した構造改善の方向を明確化し、地域利用調整のための活動を通じて、農地流動化を促進し、経営基盤の拡大を進めつつ認定農業者等担い手の育成・確保を図るとするもので、実施状況は以下のとおりである。

(1) 農業経営改善計画認定状況

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>市名</th>
<th>豊橋市</th>
<th>豊川市</th>
<th>蒲郡市</th>
<th>田原市</th>
<th>計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>認定農業者数</td>
<td>636</td>
<td>303</td>
<td>86</td>
<td>1,129</td>
<td>2,154</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>うち法人数</td>
<td>53</td>
<td>12</td>
<td>3</td>
<td>68</td>
<td>136</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(平成27年3月末現在)

(2) 農地流動化実績

<table>
<thead>
<tr>
<th>区分</th>
<th>市名</th>
<th>農用地面積</th>
<th>利用権設定面積</th>
<th>利用権設定率</th>
<th>経営体数（団体数）</th>
<th>担い手への農地利用面積</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>豊橋市</td>
<td>5,706</td>
<td>446</td>
<td>261</td>
<td>8</td>
<td>715</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>豊川市</td>
<td>3,371</td>
<td>240</td>
<td>118</td>
<td>2</td>
<td>360</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>蒲郡市</td>
<td>799</td>
<td>6</td>
<td>22</td>
<td>56</td>
<td>84</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>田原市</td>
<td>6,874</td>
<td>177</td>
<td>226</td>
<td>0</td>
<td>404</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>計</td>
<td>16,750</td>
<td>869</td>
<td>627</td>
<td>66</td>
<td>1,563</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(平成27年3月末現在)

(注) 経営体数＝認定農業者＋基本構想土地区画整理事業者＋認定新規就農者＋集落営農農家

(3) 耕作放棄地面積の推移

<table>
<thead>
<tr>
<th>市町名</th>
<th>区分</th>
<th>2005年(a)</th>
<th>2010年(b)</th>
<th>対比(b/a)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>豊橋市</td>
<td>951</td>
<td>800</td>
<td>84％</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>豊川市</td>
<td>517</td>
<td>534</td>
<td>103％</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>蒲郡市</td>
<td>66</td>
<td>77</td>
<td>117％</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>田原市</td>
<td>684</td>
<td>593</td>
<td>87％</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>2,218</td>
<td>2,005</td>
<td>90％</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(農林業センサス)

(注1) 「耕作放棄地」とは、「過去1年間作付せず、今後作付する意志のない土地」をいう。
(注2) 販売農家、自給的農家、土地持ち兼農家（農家以外で耕地又は耕作放棄地を5a以上所有している世帯）の合計。
８ 地方卸売市場の概要

卸売市場法に基づき、全国の卸売市場（青果地方卸売市場 8、食肉地方卸売市場 1、生花地方卸売市場 1）が開設されており、生鮮食品の安定供給をはじめ地域経済・社会の発展と住民生活の安定に寄与している。

なお、平成 23 年 8 月に卸売市場の適正な配置の推進と地方卸売市場強化を図るため「愛知県卸売市場整備計画（第 9 次）」が策定・公表された。

### 青果地方卸売市場（平成26年）

<table>
<thead>
<tr>
<th>市場名</th>
<th>野菜</th>
<th>果実</th>
<th>蔬菜</th>
<th>その他</th>
<th>26年計/前年比</th>
<th>25年計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>数量</td>
<td>金額</td>
<td>数量</td>
<td>金額</td>
<td>数量</td>
<td>金額</td>
<td>数量</td>
</tr>
<tr>
<td>大一青果豊橋地方卸売市場</td>
<td>5,001</td>
<td>1,104</td>
<td>2,238</td>
<td>626</td>
<td>38</td>
<td>7,239</td>
</tr>
<tr>
<td>大一青果豊川地方卸売市場</td>
<td>3,087</td>
<td>628</td>
<td>2,689</td>
<td>655</td>
<td>47</td>
<td>5,776</td>
</tr>
<tr>
<td>大一青果田原地方卸売市場</td>
<td>1,427</td>
<td>272</td>
<td>713</td>
<td>187</td>
<td>113</td>
<td>2,140</td>
</tr>
<tr>
<td>大一青果福江地方卸売市場</td>
<td>886</td>
<td>173</td>
<td>594</td>
<td>176</td>
<td>77</td>
<td>1,480</td>
</tr>
<tr>
<td>地方卸売市場</td>
<td>9,053</td>
<td>1,919</td>
<td>3,089</td>
<td>899</td>
<td>32</td>
<td>12,142</td>
</tr>
<tr>
<td>豊橋中央市場</td>
<td>8,134</td>
<td>1,537</td>
<td>3,500</td>
<td>920</td>
<td>109</td>
<td>11,634</td>
</tr>
<tr>
<td>萩南市場</td>
<td>352</td>
<td>55</td>
<td>450</td>
<td>96</td>
<td>8</td>
<td>802</td>
</tr>
<tr>
<td>三河市場</td>
<td>2,144</td>
<td>341</td>
<td>467</td>
<td>284</td>
<td>20</td>
<td>1,212</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>30,085</td>
<td>6,031</td>
<td>14,340</td>
<td>3,843</td>
<td>452</td>
<td>44,425</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（農政課業務資料）

### 食肉地方卸売市場（平成26年）

<table>
<thead>
<tr>
<th>市場名</th>
<th>猪</th>
<th>牛</th>
<th>子牛他</th>
<th>26年計/前年比</th>
<th>25年計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>数量</td>
<td>金額</td>
<td>数量</td>
<td>金額</td>
<td>数量</td>
<td>金額</td>
</tr>
<tr>
<td>地方卸売市場</td>
<td>13,287</td>
<td>7,162</td>
<td>3,990</td>
<td>5,281</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td>東うず市場</td>
<td>18,508</td>
<td>11,817</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（農政課業務資料）

### 生花地方卸売市場（平成26年）

<table>
<thead>
<tr>
<th>市場名</th>
<th>切り花類</th>
<th>鉢物類</th>
<th>蔬果</th>
<th>その他</th>
<th>26年計/前年比</th>
<th>25年計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>数量</td>
<td>金額</td>
<td>数量</td>
<td>金額</td>
<td>数量</td>
<td>金額</td>
<td>数量</td>
</tr>
<tr>
<td>豊橋市場</td>
<td>7,785</td>
<td>298</td>
<td>17</td>
<td>15</td>
<td>9</td>
<td>322</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（農政課業務資料）
9 農業協同組合の概要

総合農協は管内に4農協あり、一部地区が重複するが各市に1農協となっている。県内総合農業地帯であり、農協ごとの平成26年度販売品取扱高の県内順位は、愛知みなら農協が1位、豊橋農協が2位、ひまわり農協が3位で、4農協販売品取扱高合計は、県内総合農協の販売品取扱高の約6割を占めている。販売品の内訳は、農協ごとに特徴があり、豊橋農協では野菜、ひまわり農協では野菜、花き、畜産、蒲郡市農協はみかん、愛知みなら農協では花き、野菜、畜産の取扱割合が大きい。

専門農協は、管内には18農協あるが、管内にはこの地域で盛んな畜産や園芸などの8農協がある。うずら、つまものなど特徴のある農産物の販売・販売事業等を行っている。

農業協同組合法に基づく農事組合法人は平成27年1月末現在44組合あり、県内の約1/3にあたる。各種補助事業の取組に伴い設立された組合が多い。業種別では、野菜、花き、畜産、雑穀が多い。

### 総合農協の概要

<table>
<thead>
<tr>
<th>項 目</th>
<th>組合員数</th>
<th>職員数</th>
<th>自己資本</th>
<th>貯 金</th>
<th>貸出金</th>
<th>購買品供給高</th>
<th>農畜産物販売高</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>豊 橋</td>
<td>15,427人</td>
<td>558人</td>
<td>20,661</td>
<td>232,974</td>
<td>45,639</td>
<td>9,154</td>
<td>19,842</td>
</tr>
<tr>
<td>ひまわり</td>
<td>33,133人</td>
<td>514人</td>
<td>21,371</td>
<td>275,612</td>
<td>58,253</td>
<td>5,513</td>
<td>12,012</td>
</tr>
<tr>
<td>蒲 郡 市</td>
<td>26,245人</td>
<td>432人</td>
<td>17,753</td>
<td>214,813</td>
<td>38,622</td>
<td>5,284</td>
<td>4,162</td>
</tr>
<tr>
<td>愛知みなら</td>
<td>9,079人</td>
<td>574人</td>
<td>22,457</td>
<td>167,040</td>
<td>23,275</td>
<td>17,374</td>
<td>47,540</td>
</tr>
</tbody>
</table>

*※職員数は正職員と常勤嘱託の計。（平成26事業年度経営概要調査）*

### 専門農協の概要

<table>
<thead>
<tr>
<th>項 目</th>
<th>組合員数</th>
<th>項 目</th>
<th>組合員数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>豊 橋 市 養 豚</td>
<td>29人</td>
<td>東三温室園芸</td>
<td>92人</td>
</tr>
<tr>
<td>豊 橋 市 養 鶏</td>
<td>20人</td>
<td>伊良湖開拓</td>
<td>88人</td>
</tr>
<tr>
<td>豊 橋 市 茶 業</td>
<td>17人</td>
<td>小中山開拓</td>
<td>562人</td>
</tr>
<tr>
<td>豊 橋 温室園芸</td>
<td>256人</td>
<td>中 山 開 拓</td>
<td>566人</td>
</tr>
</tbody>
</table>

*（平成25事業年度専門農協一覧調査）*

### 業種別農事組合法人数

<table>
<thead>
<tr>
<th>項 目</th>
<th>酪農</th>
<th>養豚</th>
<th>養鶏</th>
<th>果樹</th>
<th>野菜</th>
<th>花き</th>
<th>普通作物</th>
<th>その他</th>
<th>複合</th>
<th>計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>東三河</td>
<td>5</td>
<td>7</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>13</td>
<td>8</td>
<td>2</td>
<td>2</td>
<td>6</td>
<td>44</td>
</tr>
</tbody>
</table>

*（平成28年1月末現在）（農政課業務資料）*
10 农業振興地域制度の概要

管内の農業振興地域は、4市の39,041haが指定され、管内総面積の58％となっている。

このうち、各市の農業振興地域整備計画によって今後おおむね10年以上にわたり農業上の利用を確保すべき土地として定められている農用地区域の面積は16,210haとなっている。

<table>
<thead>
<tr>
<th>区分</th>
<th>農業振興地域指定年月日</th>
<th>農業振興地域整備計画認可年月日</th>
<th>農業振興地域面積 (ha)</th>
<th>農用地域面積 (ha)</th>
<th>農用地域面積</th>
<th>農用地域面積</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>豊橋市</td>
<td>45. 4. 24</td>
<td>47. 3. 17 24. 1. 18</td>
<td>18,762</td>
<td>5,727</td>
<td>2,241</td>
<td>2,558</td>
</tr>
<tr>
<td>豊川市</td>
<td>46. 9. 6</td>
<td>49. 2. 9 22. 2. 26</td>
<td>6,569</td>
<td>2,880</td>
<td>1,320</td>
<td>1,040</td>
</tr>
<tr>
<td>藤原市</td>
<td>48. 3. 26</td>
<td>49. 7. 30 20. 8. 14</td>
<td>2,040</td>
<td>729</td>
<td>33</td>
<td>38</td>
</tr>
<tr>
<td>田原市</td>
<td>45. 12. 23</td>
<td>47. 9. 14 19. 6. 29</td>
<td>11,670</td>
<td>6,874</td>
<td>1,531</td>
<td>4,033</td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td></td>
<td></td>
<td>39,041</td>
<td>16,210</td>
<td>5,125</td>
<td>7,669</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（平成26年12月1日現在）

※上段は当初認可年月日、下段は最終見直し認可年月日。
11. 農地制度の概要

(1) 農地の転用

優良な農地を確保して農業生産を維持するため、農地の他用途への転用は農地法第4条（権利移動を伴わない転用）及び第5条（転用を目的とする権利移動）により規制されており、農地の転用にあたっては、知事の許可（4 ha を超えるものは農林水産大臣許可）を必要とする。

ただし、市街化区域内の農地は、農業委員会に届出することにより許可不要となる。

なお、国、地方公共団体が行う公共事業に伴う転用については、学校、社会福祉施設、病院、庁舎、宿舎を除き、例外規定により許可、届出が不要となっている。

(2) 農地の権利移動

農地について、所有権の移転又は賃借権、使用貸借による権利、その他使用収益を目的とする権利を設定、移転する場合には、農地法第3条の規定により、農業委員会の許可を必要とする。

(3) 農地の賃貸借の解約

農地の賃貸借関係を、解除、解約申し入れ、合意解約、又は賃貸借の更新拒絶の通知をすることについては、小作農の地位安定を図るため、農地法第18条の規定により知事の許可を必要とする。

ただし、書面による合意解約、10年以上の定期賃貸借の更新拒絶の通知等については許可を要せず、農業委員会への通知のみでよい。

これらの最近5年の処理状況は以下のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>区分</th>
<th>22年</th>
<th>23年</th>
<th>24年</th>
<th>25年</th>
<th>26年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>件数</td>
<td>面積</td>
<td>件数</td>
<td>面積</td>
<td>件数</td>
</tr>
<tr>
<td>農地転用</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>許可</td>
<td>319</td>
<td>32.5</td>
<td>308</td>
<td>30.2</td>
<td>254</td>
</tr>
<tr>
<td>出</td>
<td>1,014</td>
<td>38.3</td>
<td>992</td>
<td>39.0</td>
<td>1,112</td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>1,333</td>
<td>70.8</td>
<td>1,300</td>
<td>69.2</td>
<td>1,366</td>
</tr>
<tr>
<td>権利移動</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>許可</td>
<td>2</td>
<td>0.6</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>農業委員会許可</td>
<td>288</td>
<td>44.4</td>
<td>258</td>
<td>50.3</td>
<td>266</td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>288</td>
<td>44.4</td>
<td>258</td>
<td>50.3</td>
<td>266</td>
</tr>
<tr>
<td>小作地解約</td>
<td>合意解約件</td>
<td>56</td>
<td>10.1</td>
<td>152</td>
<td>32.2</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(単位: 件, ha)

（各年1月1日～12月31日）
（農政課業務資料）

（注1）転用許可は、大臣許可を含む。（平成22年1件9.2ha、平成23年1件9.7ha）

（注2）小作地解約の許可実績なし。
## 12 参考資料

(1) 作物・種類別農業産出額の状況  (単位：億円)

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>平成 25年</th>
<th>平成 26年</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>全国</td>
<td>愛知県</td>
</tr>
<tr>
<td>農業産出額（総合計）</td>
<td>85,748</td>
<td>3,084</td>
</tr>
<tr>
<td>耕種</td>
<td>57,255</td>
<td>2,265</td>
</tr>
<tr>
<td>米</td>
<td>17,864</td>
<td>310</td>
</tr>
<tr>
<td>麦類</td>
<td>429</td>
<td>7</td>
</tr>
<tr>
<td>雜穀豆類</td>
<td>711</td>
<td>16</td>
</tr>
<tr>
<td>いも類</td>
<td>1,996</td>
<td>13</td>
</tr>
<tr>
<td>野菜</td>
<td>22,533</td>
<td>1,102</td>
</tr>
<tr>
<td>果実</td>
<td>7,588</td>
<td>175</td>
</tr>
<tr>
<td>花き</td>
<td>3,485</td>
<td>571</td>
</tr>
<tr>
<td>工芸農作物</td>
<td>1,849</td>
<td>21</td>
</tr>
<tr>
<td>その他作物</td>
<td>800</td>
<td>49</td>
</tr>
<tr>
<td>畜産</td>
<td>27,948</td>
<td>815</td>
</tr>
<tr>
<td>肉用牛</td>
<td>5,587</td>
<td>89</td>
</tr>
<tr>
<td>乳用牛</td>
<td>7,789</td>
<td>220</td>
</tr>
<tr>
<td>鹿</td>
<td>5,793</td>
<td>228</td>
</tr>
<tr>
<td>鶏</td>
<td>8,244</td>
<td>242</td>
</tr>
<tr>
<td>その他畜産物</td>
<td>536</td>
<td>36</td>
</tr>
<tr>
<td>加工農産物</td>
<td>545</td>
<td>5</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(生産農業所得統計)
(2) 耕地の状況

<table>
<thead>
<tr>
<th>区 分</th>
<th>耕地面積計</th>
<th>作付延べ面積合計</th>
<th>耕地利用率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td>田</td>
<td>畑</td>
<td>普通畑</td>
</tr>
<tr>
<td>豊橋市</td>
<td>7,750</td>
<td>2,540</td>
<td>5,210</td>
</tr>
<tr>
<td>豊川市</td>
<td>3,330</td>
<td>1,420</td>
<td>1,900</td>
</tr>
<tr>
<td>蓼原市</td>
<td>888</td>
<td>59</td>
<td>829</td>
</tr>
<tr>
<td>田原市</td>
<td>6,340</td>
<td>1,330</td>
<td>5,010</td>
</tr>
<tr>
<td>管内計</td>
<td>18,308</td>
<td>5,349</td>
<td>12,949</td>
</tr>
<tr>
<td>愛知県計</td>
<td>77,400</td>
<td>43,800</td>
<td>33,500</td>
</tr>
<tr>
<td>全国</td>
<td>4,518,000</td>
<td>2,458,000</td>
<td>2,060,000</td>
</tr>
<tr>
<td>管内が占める割合</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>愛知県</td>
<td>23.7 %</td>
<td>12.2 %</td>
<td>38.7 %</td>
</tr>
<tr>
<td>全国</td>
<td>0.4 %</td>
<td>0.2 %</td>
<td>0.6 %</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（平成26年7月15日現在、耕地及び作付面積統計）

29
(3) 農家の状況（平成22年2月1日現在）

<table>
<thead>
<tr>
<th>区 分</th>
<th>総農家戸数</th>
<th>販売農家戸数</th>
<th>専業家数農家戸数</th>
<th>専業家戸数農家率</th>
<th>兼業家数農家戸数</th>
<th>兼業家戸数農家率</th>
<th>第一種業農家</th>
<th>第二種業家</th>
<th>自給の家うち農業兼業人口</th>
<th>基幹農業従事者うち60歳未満</th>
<th>総人口</th>
<th>総世帯数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>豊橋市</td>
<td>5,514</td>
<td>3,911</td>
<td>1,413</td>
<td>36.1 %</td>
<td>2,498</td>
<td>882</td>
<td>1,616</td>
<td>1,603</td>
<td>8,930</td>
<td>8,182</td>
<td>4,215</td>
<td>365,539</td>
</tr>
<tr>
<td>豊川市</td>
<td>3,922</td>
<td>2,482</td>
<td>560</td>
<td>22.6 %</td>
<td>1,922</td>
<td>556</td>
<td>1,366</td>
<td>1,440</td>
<td>4,817</td>
<td>4,415</td>
<td>1,853</td>
<td>180,003</td>
</tr>
<tr>
<td>蒲郡市</td>
<td>1,165</td>
<td>696</td>
<td>190</td>
<td>27.3 %</td>
<td>506</td>
<td>189</td>
<td>317</td>
<td>469</td>
<td>1,541</td>
<td>1,374</td>
<td>662</td>
<td>81,280</td>
</tr>
<tr>
<td>田原市</td>
<td>4,348</td>
<td>3,719</td>
<td>1,659</td>
<td>44.6 %</td>
<td>2,060</td>
<td>1,079</td>
<td>981</td>
<td>629</td>
<td>10,564</td>
<td>9,916</td>
<td>6,004</td>
<td>65,372</td>
</tr>
<tr>
<td>管内計</td>
<td>14,949</td>
<td>10,808</td>
<td>3,822</td>
<td>35.4 %</td>
<td>6,986</td>
<td>2,706</td>
<td>4,280</td>
<td>4,141</td>
<td>25,852</td>
<td>23,887</td>
<td>12,734</td>
<td>692,042</td>
</tr>
<tr>
<td>愛知県</td>
<td>84,028</td>
<td>43,599</td>
<td>10,024</td>
<td>30.0 %</td>
<td>33,575</td>
<td>6,525</td>
<td>27,050</td>
<td>40,429</td>
<td>77,359</td>
<td>66,861</td>
<td>26,233</td>
<td>7,237,612</td>
</tr>
<tr>
<td>全国</td>
<td>2,527,948</td>
<td>1,631,206</td>
<td>451,427</td>
<td>27.7 %</td>
<td>1,179,779</td>
<td>224,610</td>
<td>955,169</td>
<td>896,742</td>
<td>2,605,736</td>
<td>2,051,437</td>
<td>797,960</td>
<td>127,057,860</td>
</tr>
<tr>
<td>管内占める割合</td>
<td>愛知県</td>
<td>17.8 %</td>
<td>24.8 %</td>
<td>38.1 %</td>
<td>20.8 %</td>
<td>41.5 %</td>
<td>15.8 %</td>
<td>10.2 %</td>
<td>33.4 %</td>
<td>35.7 %</td>
<td>48.5 %</td>
<td>9.6 %</td>
</tr>
<tr>
<td>全国</td>
<td>0.6 %</td>
<td>0.7 %</td>
<td>0.8 %</td>
<td>0.6 %</td>
<td>1.2 %</td>
<td>0.4 %</td>
<td>0.5 %</td>
<td>1.0 %</td>
<td>1.2 %</td>
<td>1.6 %</td>
<td>0.5 %</td>
<td>0.5 %</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（注）総人口及び総世帯数は平成22年3月31日現在。（2010年農業センサス・平成22年国勢調査）
（4）作物別作付（栽培）面積・収穫量

ア）穀類

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>目</th>
<th>全国</th>
<th>愛知県</th>
<th>東三河</th>
<th>県内シェア</th>
<th>豊橋市</th>
<th>豊川市</th>
<th>蒲郡市</th>
<th>田原市</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>水稻</td>
<td>作付面積</td>
<td>1,573,000</td>
<td>29,300</td>
<td>3,832</td>
<td>13.1%</td>
<td>1,850</td>
<td>987</td>
<td>40</td>
<td>955</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>収穫量</td>
<td>8,435,000</td>
<td>147,700</td>
<td>19,216</td>
<td>13.0%</td>
<td>9,380</td>
<td>4,970</td>
<td>196</td>
<td>4,670</td>
</tr>
<tr>
<td>小麥</td>
<td>作付面積</td>
<td>212,600</td>
<td>5,420</td>
<td>99</td>
<td>1.8%</td>
<td>12</td>
<td>87</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>収穫量</td>
<td>852,400</td>
<td>23,200</td>
<td>266</td>
<td>1.1%</td>
<td>24</td>
<td>242</td>
<td>-</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>大豆</td>
<td>作付面積</td>
<td>131,600</td>
<td>4,250</td>
<td>94</td>
<td>2.2%</td>
<td>11</td>
<td>82</td>
<td>1</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>収穫量</td>
<td>231,800</td>
<td>7,180</td>
<td>112</td>
<td>1.6%</td>
<td>7</td>
<td>104</td>
<td>1</td>
<td>-</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（作物統計）（平成26年）
イ）野菜類  
（単位：ha. t）

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>全国</th>
<th>愛知県</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>いちご</td>
<td>5,600</td>
<td>293</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>165,600</td>
<td>10,000</td>
</tr>
<tr>
<td>かぼちゃ</td>
<td>16,600</td>
<td>136</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>211,800</td>
<td>2,010</td>
</tr>
<tr>
<td>カリフラワー</td>
<td>1,290</td>
<td>108</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>22,200</td>
<td>2,010</td>
</tr>
<tr>
<td>キャベツ</td>
<td>34,300</td>
<td>5,590</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>1,440,000</td>
<td>261,400</td>
</tr>
<tr>
<td>きゅうり</td>
<td>11,400</td>
<td>167</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>574,400</td>
<td>14,700</td>
</tr>
<tr>
<td>こまつな</td>
<td>6,450</td>
<td>113</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>105,200</td>
<td>1,560</td>
</tr>
<tr>
<td>さといも</td>
<td>13,000</td>
<td>358</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>162,100</td>
<td>3,510</td>
</tr>
<tr>
<td>さやえんどう</td>
<td>3,110</td>
<td>142</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>20,400</td>
<td>1,380</td>
</tr>
<tr>
<td>すいか</td>
<td>11,000</td>
<td>456</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>355,300</td>
<td>14,300</td>
</tr>
<tr>
<td>スイートコーン</td>
<td>24,400</td>
<td>558</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>236,800</td>
<td>5,640</td>
</tr>
<tr>
<td>セルリー</td>
<td>604</td>
<td>42</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>34,000</td>
<td>2,690</td>
</tr>
<tr>
<td>だいこん</td>
<td>33,700</td>
<td>655</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>1,457,000</td>
<td>24,200</td>
</tr>
<tr>
<td>たまねぎ</td>
<td>25,200</td>
<td>635</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>1,068,000</td>
<td>31,200</td>
</tr>
<tr>
<td>ちんげんさい</td>
<td>2,380</td>
<td>144</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>47,000</td>
<td>3,120</td>
</tr>
<tr>
<td>トマト</td>
<td>12,100</td>
<td>523</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>747,500</td>
<td>46,800</td>
</tr>
<tr>
<td>なす</td>
<td>9,700</td>
<td>273</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>321,200</td>
<td>14,500</td>
</tr>
<tr>
<td>にんじん</td>
<td>18,500</td>
<td>509</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>603,900</td>
<td>21,200</td>
</tr>
<tr>
<td>ねぎ</td>
<td>22,900</td>
<td>478</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>477,500</td>
<td>9,430</td>
</tr>
<tr>
<td>はくさい</td>
<td>17,800</td>
<td>518</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>906,300</td>
<td>24,700</td>
</tr>
<tr>
<td>はれい仕立て</td>
<td>79,700</td>
<td>337</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>2,407,300</td>
<td>3,866</td>
</tr>
<tr>
<td>ビーマン</td>
<td>3,360</td>
<td>48</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>145,300</td>
<td>937</td>
</tr>
<tr>
<td>ぶき</td>
<td>616</td>
<td>79</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>12,400</td>
<td>5,080</td>
</tr>
<tr>
<td>ブロッコリー</td>
<td>13,700</td>
<td>923</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>137,000</td>
<td>14,500</td>
</tr>
<tr>
<td>ほうれんさお</td>
<td>21,300</td>
<td>489</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>250,300</td>
<td>6,650</td>
</tr>
<tr>
<td>メロン</td>
<td>7,560</td>
<td>410</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>168,700</td>
<td>8,690</td>
</tr>
<tr>
<td>レタス</td>
<td>21,300</td>
<td>381</td>
</tr>
<tr>
<td>収穫量</td>
<td>579,000</td>
<td>6,210</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（作物統計）（平成25年）
<table>
<thead>
<tr>
<th>項</th>
<th>目</th>
<th>全国</th>
<th>愛知県</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>か</td>
<td>き</td>
<td>21,600</td>
<td>1,210</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>栽培面積</td>
<td>214,700</td>
<td>12,300</td>
</tr>
<tr>
<td>な</td>
<td>し</td>
<td>13,000</td>
<td>384</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>栽培面積</td>
<td>267,200</td>
<td>7,370</td>
</tr>
<tr>
<td>ぶ</td>
<td>どう</td>
<td>17,400</td>
<td>479</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>栽培面積</td>
<td>189,700</td>
<td>4,770</td>
</tr>
<tr>
<td>み</td>
<td>カン</td>
<td>43,700</td>
<td>1,310</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>栽培面積</td>
<td>895,900</td>
<td>28,200</td>
</tr>
<tr>
<td>も</td>
<td>も</td>
<td>9,890</td>
<td>208</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>栽培面積</td>
<td>124,700</td>
<td>1,900</td>
</tr>
<tr>
<td>茶</td>
<td></td>
<td>45,400</td>
<td>587</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>栽培面積</td>
<td>383,400</td>
<td>4,330</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(作物統計)（平成25年）

<table>
<thead>
<tr>
<th>項</th>
<th>目</th>
<th>全国</th>
<th>愛知県</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>切り花類</td>
<td>作付面積</td>
<td>1,538,000</td>
<td>156,400</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>出荷量</td>
<td>4,066,000</td>
<td>642,800</td>
</tr>
<tr>
<td>カーネーション</td>
<td>作付面積</td>
<td>34,800</td>
<td>5,170</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>出荷量</td>
<td>304,700</td>
<td>52,300</td>
</tr>
<tr>
<td>ガーベラ</td>
<td>作付面積</td>
<td>9,420</td>
<td>952</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>出荷量</td>
<td>165,800</td>
<td>16,800</td>
</tr>
<tr>
<td>きく</td>
<td>作付面積</td>
<td>509,600</td>
<td>129,500</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>出荷量</td>
<td>1,599,000</td>
<td>465,600</td>
</tr>
<tr>
<td>ばら</td>
<td>作付面積</td>
<td>39,500</td>
<td>5,110</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>出荷量</td>
<td>286,900</td>
<td>50,000</td>
</tr>
<tr>
<td>鉢作物類</td>
<td>収穫面積</td>
<td>179,600</td>
<td>35,200</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>出荷量</td>
<td>244,100</td>
<td>59,600</td>
</tr>
<tr>
<td>シクラメン</td>
<td>収穫面積</td>
<td>20,300</td>
<td>2,150</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>出荷量</td>
<td>19,200</td>
<td>2,130</td>
</tr>
<tr>
<td>洋ラン類</td>
<td>収穫面積</td>
<td>21,900</td>
<td>4,990</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>出荷量</td>
<td>16,200</td>
<td>3,700</td>
</tr>
<tr>
<td>観葉植物</td>
<td>収穫面積</td>
<td>32,300</td>
<td>9,830</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>出荷量</td>
<td>45,300</td>
<td>23,500</td>
</tr>
<tr>
<td>花壇用苗もの類</td>
<td>作付面積</td>
<td>153,100</td>
<td>12,700</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>出荷量</td>
<td>710,900</td>
<td>64,300</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(作物統計)（平成25年）
(5) 家畜の飼養状況（平成 26 年）
（単位：戸、頭、千羽、千円）

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>全国</th>
<th>県</th>
<th>東三河</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td><strong>乳用牛</strong></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>飼養戸数</td>
<td>18,600</td>
<td>367</td>
<td>149</td>
</tr>
<tr>
<td>飼養頭数</td>
<td>1,395,000</td>
<td>29,435</td>
<td>12,367</td>
</tr>
<tr>
<td>産出額</td>
<td>77,800</td>
<td>2,200</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
| **肉用牛**
（乳肉複合等を含む） |      |    |        |
| 飼養戸数         | 57,500 | 419 | 150    |
| 飼養頭数         | 2,567,000 | 47,493 | 28,976 |
| 産出額           | 51,890 | 890 |
| **豚**           |      |    |        |
| 飼養戸数         | 5,270 | 237 | 128    |
| 飼養頭数         | 9,537,000 | 336,910 | 197,901 |
| 産出額           | 57,460 | 2,280 |
| **採卵鶏**      |      |    |        |
| 飼養戸数         | 2,560 | 173 | 42     |
| 飼養羽数         | 133,506 | 7,171 | 1,892  |
| **プロイラー（肉用名古屋コーチン含む）** |      |    |        |
| 飼養戸数         | 42    |     | 18     |
| 飼養羽数         | 1,391 | 451 |
| **肉用名古屋コーチン** |      |    |        |
| 飼養戸数         | 18    |     | 9      |
| 飼養羽数         | 203   | 113 |
| **うずら**       |      |    |        |
| 飼養戸数         | 27    |     | 16     |
| 飼養羽数         | 2,751 | 2009 |

全国（飼養戸数・飼養頭数・産出額）、愛知県（産出額）
：第61次農林水産統計年報（H26.2.1 現在）
愛知県、東三河：愛知県農林水産部畜産課調べ（平成26年次調査）
（空欄についてはデータが存在しない。）
<table>
<thead>
<tr>
<th>区分</th>
<th>計</th>
<th>水質汚濁</th>
<th>悪臭</th>
<th>害虫</th>
<th>悪臭と害虫</th>
<th>水質汚濁と害虫</th>
<th>水質汚濁と悪臭</th>
<th>水質汚濁と悪臭と害虫</th>
<th>その他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>酪農</td>
<td>6 (11)</td>
<td>- (-)</td>
<td>3 (2)</td>
<td>1 (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>1 (2)</td>
<td>- (-)</td>
<td>1 (7)</td>
</tr>
<tr>
<td>肉牛</td>
<td>1 (1)</td>
<td>- (-)</td>
<td>1 (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (1)</td>
</tr>
<tr>
<td>養豚</td>
<td>7 (10)</td>
<td>2 (2)</td>
<td>3 (3)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>2 (3)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (2)</td>
</tr>
<tr>
<td>養鶏</td>
<td>4 (4)</td>
<td>1 (-)</td>
<td>3 (3)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (2)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (1)</td>
</tr>
<tr>
<td>養蜂</td>
<td>2 (2)</td>
<td>1 (-)</td>
<td>1 (2)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>0 (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
<td>- (-)</td>
</tr>
<tr>
<td>計</td>
<td>21 (28)</td>
<td>5 (2)</td>
<td>11 (10)</td>
<td>1 (-)</td>
<td>0 (-)</td>
<td>3 (5)</td>
<td>0 (-)</td>
<td>1 (11)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>愛知県</td>
<td>52 (60)</td>
<td>8 (8)</td>
<td>27 (30)</td>
<td>7 (-)</td>
<td>1 (4)</td>
<td>5 (5)</td>
<td>1 (-)</td>
<td>3 (13)</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

（注）（_）は前年度
今年度実績：25年7月1日～26年6月30日
前年度実績：24年7月1日～25年6月30日
（農政課業務資料）
(7) 農薬取締法及び肥料取締法関係の届出状況薬販売届出状況

<table>
<thead>
<tr>
<th>区 分</th>
<th>計</th>
<th>豊橋市</th>
<th>豊川市</th>
<th>蒲郡市</th>
<th>田原市</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>農薬販売届出 (販売者数)</td>
<td>290</td>
<td>138</td>
<td>67</td>
<td>33</td>
<td>52</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(平成27年3月31日現在)
(農政課業務資料)

特殊肥料生産業者届出状況

<table>
<thead>
<tr>
<th>区 分</th>
<th>計</th>
<th>豊橋市</th>
<th>豊川市</th>
<th>蒲郡市</th>
<th>田原市</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>特殊肥料生産業者届出 (業者数)</td>
<td>386</td>
<td>170</td>
<td>26</td>
<td>3</td>
<td>187</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(平成27年3月31日現在)
(農業経営課業務資料)

肥料販売業務開始届出状況

<table>
<thead>
<tr>
<th>区 分</th>
<th>計</th>
<th>豊橋市</th>
<th>豊川市</th>
<th>蒲郡市</th>
<th>田原市</th>
<th>その他</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>肥料販売業務開始届出 (業者数)</td>
<td>512</td>
<td>234</td>
<td>43</td>
<td>21</td>
<td>210</td>
<td>4</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(平成27年3月31日現在)
(農政課業務資料)
東三河農林水産事務所の組織

総務課

農政課

農業改良普及課

田原農業改良普及課

水産課

建設課

豊川用水課

林務課

東三河農業要覧

平成28年3月

愛知県東三河農林水産事務所

農政課

〒440-0806

愛知県豊橋市八町通5丁目4番地

電話 0532-35-6163（ダイヤルイン）

E-mail:higashimikawa-nourin@pref.aichi.lg.jp